

日本地球惑星科学連合大会における気象学会主催セッションの提案募集 および気象学会によるセッションの共催について

日本気象学会 講演企画委員会

日本気象学会では、2010年度より日本地球惑星科学連合大会(連合大会と略す)において下記のような方針で、主催セッション(1件)を提案することとしております。つきましては、2023年度の連合大会(https://www.jpгу.org/meeting_j2023/)での開催に向け、下記要項1により、会員の皆様から主催セッションを募集いたします。

また、コンビーナーが連合へ提案するセッションを気象学会との共催とすることを希望される場合は、気象学会共催セッションとして積極的に支援します。共催セッションの数に制限は設けておりません。下記要項2に沿って、積極にご応募ください。

1. 主催セッション募集要項

- セッション名を「最新の気象科学:サブテーマ名」とし、サブテーマ(気象科学分野の特定の分野)とコンビーナーは毎年公募する。
- セッションには招待講演を設けて最先端の気象科学の成果を他分野に紹介するとともに、気象学会員と非会員の双方からの一般講演を募集し、日本惑星科学連合における気象科学および関連諸分野の学術交流と研究発表の場とする。
- 応募されたサブテーマは、講演企画委員会および理事会の議論を経て採否を決定する。
- サブテーマおよびコンビーナーの決定後はその運営をコンビーナーに委ねる。学会は必要に応じてその宣伝等の広報活動を行う。
- 以下の事項を申込フォームからお送り下さい。
 - (1)サブテーマ名
 - (2)趣旨説明(400字程度)
 - (3)コンビーナー全員の氏名・所属および代表者の連絡先(電話・FaxおよびE-mail)採択された場合、上記を日本気象学会ホームページ上に掲載します。要望があれば電話・Fax番号、E-mailアドレスも掲載します。
- 申込期限:2022年10月24日(月)必着
- 申込フォーム:JpGU 学協会セッション募集 <https://sites.google.com/metsoc.or.jp/jpgu-met/>
- 問い合わせ先:講演企画委員会 JpGU 学協会セッション担当 jpgu-met@metsoc.jp

2. 共催セッション募集要項

- コンビーナーが連合へ提案するセッションの中から、共催セッション(複数)を毎年公募する。
- 応募されたセッションは、講演企画委員会および理事会の議論を経て採否を決定する。
- セッション運営はコンビーナーに委ねる。学会は必要に応じてその宣伝等の広報活動を行う。
- 以下の事項を明記してE-mailでお申し込み下さい。
 - (1)セッション名
 - (2)趣旨説明(400字程度)
 - (3)コンビーナー全員の氏名・所属および代表者の連絡先(電話・FaxおよびE-mail)

- ・申込期限:2022年10月24日(月)必着
- ・申込フォーム:JpGU 学協会セッション募集 <https://sites.google.com/metsoc.or.jp/jpgu-met/>
- ・問い合わせ先:講演企画委員会 JpGU 学協会セッション担当 jpgu-met@metsoc.jp

3. スケジュールの概略

2022年10月3日～11月2日(水):連合大会セッション提案期間

2022年10月12日～24日(月):気象学会主催/共催セッション募集

2022年11月1日(火):主催/共催セッション採否の通知

2022年11月9日(水):連合によるセッションの採択の決定

2023年1月～2月:連合ホームページにて講演募集

2023年3月:プログラムの公開

2023年5月21日(日)～5月26日(金)連合大会(会場:千葉県千葉市幕張)

なお、大会終了後、主催セッションコンビーナーの方には800字程度でセッションの報告を執筆の上、「天気」に速やかに投稿して下さるようお願いします。

4. これまでに開催された主催セッション

2010年度:「北極圏の気候変動」(セッションA-AS002)

2011年度:「大気・海洋・地球環境における乱流の数値解析」(A-AS022)

2012年度:「中高緯度大気海洋相互作用と気候」(A-AS03)

2013年度:「福島原発事故放射能の大気・陸圏輸送、沈着問題」(A-AS24)

2014年度:「航空機による大気科学・地球観測研究の展開」(U-04)

2015年度:「Satellite Earth Environment Observation (衛星による地球環境観測)」(A-CG09)

2016年度:「High performance computing of next generation weather, climate, and environmental sciences using K」(A-AS02)

2017年度:「International Field Campaign - Years of the Maritime Continent (YMC)」(A-AS03)

2018年度:「台風研究の新展開～過去・現在・未来」(A-AS03)

2019年度:「ダスト」(M-IS09)

2020年度:「東アジアの異常天候・都市災害と気候変動との関わり」(A-AS02)